



【すべての生き物はほかの命を保つために役立っている】

● 進化論では、すべての生き物は微生物(バクテリアなど)から進化した、と言っているが、微生物がみんなほかの生き物に進化してしまったら、ほかの生き物の「養分」が作られなくなる！
 >すべての生き物は別々に、そして同時に誕生しなければ、食物連鎖は成り立たない！

● 進化論では、生き物は“生き残るために”進化してきた(自然淘汰)、と言うが、なぜ食べられる生き物(草食動物など) >が<食べる生き物(肉食動物) >に進化しないのか？

● 人間は、地球上の多くの生き物を取りつくり、環境をこわして生きてゆけないようにして、食物連鎖を破壊している！

- > 地球温暖化(絶滅危惧種の10種に1種は地球温暖化の影響を受けている/WWF)
- > 「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」(創世記 1:28)と言われたのに！



● 神様は、すべての生き物が、<ほかの生き物の命>によって生きてゆくように創造された。連鎖しているのは<命>である。(100グラムのおにぎり1個には約2160粒の命が詰まっている！)
 >食物連鎖というしくみも、神様の創造の御業である！

● この世の命を保つために<ほかの生き物の命>が必要。永遠の命のためには<イエスの命>が必要！



「イエスは言われた、『わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。』(ヨハネ福音書 6:35)
 「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。」(ヨハネ福音書 6:54)